

令和3年大綱白里市議会

第1回定例会市長事務方針

2月18日から3月22日まで、市議会第1回定例会が開催されました。開会日に市長から令和3年度の事務方針が述べられましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

当初予算・今後の財政運営

一般会計の予算規模は、前年度を若干上回る146億4千4百万円となりましたが、ふるさと納税返礼品に伴う経費や公債費の増額を考慮すると、実質的には前年度を下回る緊縮型の予算となっています。

組織体制の強化

本市では、「行財政改革推進本部」を中心に、行財政改革に取り組みましたが、

令和3年度当初予算では、地方消費税交付金や寄付金などの増額が見込まれるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により市税が減収となる見込みであることから、福祉関係費や公債費の増加に要する一般財源を賄うことができない、6億7千万円の財源不足が生じたため、財政調整基金等を取り崩し、補てんすることとしました。このため、当初予算編成後の財政調整基金の残高は4億4千万円となる見込みです。

今後、公共施設の改修のほか、公共下水道施設などの老朽化に伴う改修・更新に多額の経費が見込まれるとともに、国保大綱病院への繰出金、山武郡市広域行政組合や東金市外三市町清掃組合に対する負担金も増加が見込まれることから、本市の財政見直しは、極めて厳しい状況です。

総合計画

「第6次総合計画」は、年度内に前期基本計画の策定を

防災対策

令和3年度の防災訓練は、

限られた財源の中で子育て支援サービスをより効果的に実施するため、「子ども医療費助成制度」の見直しを予定しています。本市の「子ども医療費助成制度」は、千葉県の基準を大幅に上回るとともに、

近隣の自治体以上のサービスを提供していることから、受給券を更新する令和3年8月の診療分を期に、無料として

「総合防災訓練」・「津波避難訓練」は、来年度は、この「九都県市合同防災訓練」と併せて実施する方向で、千葉県と協議を進めたいと考えています。

市役所職員を対象とした「職員災害初動対応訓練」、土砂災害警戒区域等の方々を対象とした「土砂災害避難訓練」は、例年どおり市独自の防災訓練として実施します。

台風や大雨の災害に伴う「がれき」などの災害廃棄物の処理等を目的とした「災害廃棄物処理計画」は、環境省のモデル事業に参加し、策定作業を進め、素案が完成しました。

福祉関係

高齢者福祉計画・介護保険事業計画は、市介護保険運営協議会の答申に基づき、「第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」として策定に至りました。

今後は、地域包括ケアシステムのさらなる推進に重点を置いた「高齢者の活躍できるまちづくり」、「介護が必要になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指します。

近年、子育て支援に関するニーズが多様化し、児童福祉に係る経費が年々増加する中、

予定です。広報紙や市ホームページ、リーフレットなどにより、新たな運行計画の周知を図り、4月以降の円滑な運行に努めます。

白里地区コミュニティバス「はまバス」は、本年9月末をもって実証運行期間が終了することから、10月以降の方針を検討するため、白里地区の市民の皆様や利用者を対象に、「はまバス」の今後のあり方などに関するアンケート調査を実施しました。

住民協働事業

令和3年度の住民協働事業は、「日本語教室の運営」、「ひきこもり当事者及び家族の支援」の2団体の事業を採択しました。

大網駅周辺整備

大網駅東土地画整理事業は、直接施行による建築物等の除却を終え、当該箇所の造成工事が終了し、4月1日から区域内の全ての宅地で使用収益が可能となる見込みです。

今後、区画整理事業全体の完了に向けた事務処理を進め、令和4年1月の換地処分、新しい町名地番への変更に向け、遺漏の無いよう努めます。

「大網駅南地区まちづくり勉強会」は、市内の新型コロナウイルス感染症の感染状況等を見極めながら、あらためて開催時期を検討します。

公共交通

増穂地区コミュニティバスは、本年4月から運行ルートの一部とダイヤを見直した新たな運行計画をスタートする



まで整備を進めてきましたが、今後、JR東金線金谷踏切までの工事を進めるに当たり、未だ協力の得られていない1名の地権者の方との交渉を継続しています。

下水道事業

市の下水道事業は、経営基盤の強化を図るため、公共下水道、農業集落排水、コミュニティ・プラントの3事業を公営企業会計に移行し、一体的に運営してきました。

下水道事業の経営状況は、本来、下水道使用料で賄うべき汚水処理に係る経費を一般会計からの繰入金に依存しているなど、改善すべき点があることから、今後、下水道使用料の見直しを含め、直ちに経営の健全化に取り組みます。

日本下水道事業団と協定を締結し、実施している下水道施設の改築更新事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により工程の遅延が生じたため、当初、予定していた本年度内の終了が困難であることから、協定の期間を6か月延長しました。併せて、国庫補助金の減額に伴い、事業内容を見直したことから、事業費を約9,300万円減額し、協定金額を総額8億9,962万円に変更する予定です。

農業関係

安定した農業経営を可能にする基盤づくりに向けた取り組みの一環として、千葉県と共に準備を進めてきた山辺地区の「農業基盤整備事業」は、

国への採択申請に至りました。担い手の育成・確保策とし

て、各種補助事業を効果的に活用し、農業経営の支援を行うとともに、主食用米の需要に応じた生産を図るため、飼料用米や加工用米などの作付けの協力を求めます。

野生鳥獣による農作物等への被害に対して、県・猟友会と連携して効果的な駆除を図るとともに、被害軽減に向けた取り組みを検討します。

昨年以降、県内での鳥インフルエンザの発生が相次いでおり、本市にもほど近い県北東部の市町を中心に被害が拡がっています。万一の事態の際には、直ちに「急性悪性家畜伝染病現地対策本部」を設置し、万全の対応を図ります。

白里海岸

千葉県により進められていた波乗り道路アンダーパスの「開口部対策工事」は、5か所の囲み堤防が完成し、残る6か所の陸間(りっこう)も、本年度内の完成を目指して工事が進められています。併せて陸間の運用方法につき、県との間で協議を進めています。

白里海水浴場は、今夏の開設に向け準備を進めています。白里海岸公園は、地元の皆様との意見交換会での意見を受けて、公園全体面積の約3割の公園の廃止や残る公園の管理方法などを内容とした新たな方針案を取りまとめ、パブリックコメントを行いました。

庁舎整備

市役所本庁舎は、現庁舎の一部増改築を含む改修を基本方針として、改修工事の内容、スケジュール、概算工事費の

算出などを内容とする基本設計を進めています。基本設計が終了次第、財源の確保に配慮しながら、優先順位の高い項目から、順次、実施設計に着手し、段階的に工事を進めたいと考えています。

教育

本市の教育が進むべき方向性を示す「教育大綱」は、総合教育会議で承認いただき、新たな大綱として決定しました。「GIGAスクール推進事業」は、3月末までに全児童生徒への端末の配置、学校内の通信ネットワーク整備を完了する予定です。今後、各校の教職員を対象に端末操作等の研修を実施し、4月からの本格活用に向けた準備を進めます。

市内の各公立幼稚園・小学校では、感染防止対策の徹底を心掛けています。新入生受け入れに向け、引き続き感染防止対策を図りながら、教育環境の充実に万全を期します。

大綱病院

大綱病院では、新型コロナウイルスの感染が拡大したことから、外来患者数が大幅に減少し、本年度の外来収益は例年を大きく下回る見込みです。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、令和3年度も、大変厳しい病院経営が見込まれますが、院内における感染防止対策を徹底するとともに、近隣病院やクリニック等との緊密な連携を図り、可能な限り救急患者を受け入れることにより、少しでも収益の向上へと繋げたいと考えています。